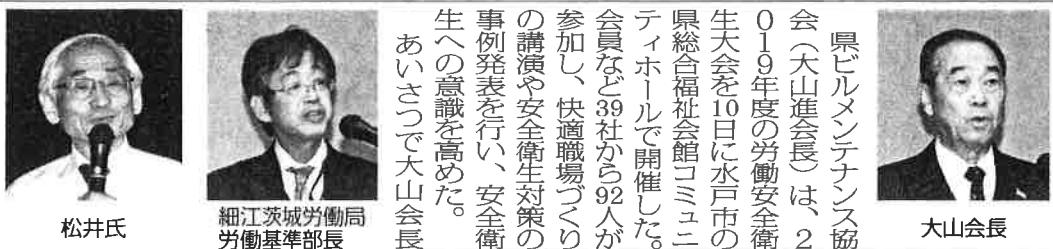


日本工業経済新聞
2019年(令和元年)10月12日(土曜日)



大会では安全衛生対策の事例発表や安全宣言などを行い、絶対無事故を再確認した

皆で快適職場実現を

県ビルメンテナンス協会

安全衛生大会開く

は、労働安全衛生は各企業が優先して取り組むべき重要な課題と強調。

「過重労働や長時間労働は、前途有為な社員の心身の健康をむしばみ、影響は深刻さを増してお

り、適切な対応が強く求められている。本日の講演や貴重な事例から参考

いため、今後の対策に活かされるようお願いする」と呼び掛けた。

来賓である茨城労働局の細江裕行労働基準部長は、県内の労働災害の発生状況に触れ、墜落・転落災害への備えなどを訴えた。

講演では、松井産業労働コンサルタント事務所

例発表では、関東ビルサービス(株)の江畑智弘氏

が自社の労働安全衛生活動を継続的に行っていていることを紹介。さらに日和スマントによる安全意識の向上について、現場作業者の取り組みによって効果が出ていることを説明した。

最後には大会宣言として、同協会労働安全衛生委員会の根本妃美子委員長が「私たちは安全と心身の健康の確保に全力で取り組み、相互の連携を図りながら、快適な職場環境を築いていくことを宣言します」と読み上げ、全員で確認した。

の松井玄考代表が快適職場の実現へメンタルヘルスの保ち方を解説。人間関係の良い方が快適な職場となると強調し、職場の風通しを良くするにはコミュニケーション力を高めることが大切と呼び掛けた。